

森林総研における 竹研究への取り組み

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

これまでに森林総研において実施してきた
竹関連の研究について紹介します。



環境保全

主に関西支所で
研究を実施

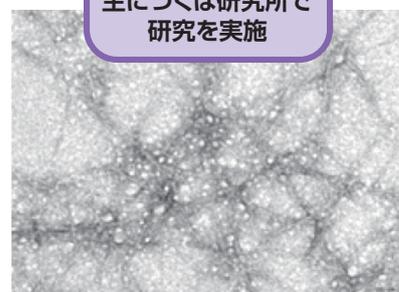


国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所



利用技術

主につくば研究所で
研究を実施



森林総研では様々な角度から竹に関わる研究を進めてきました。取り組むテーマは大きく分けて二つ、一つ目は竹林管理技術の創出に向けた調査や対策、もう一つは竹利用技術の開発です。

前者の「管理技術」については竹林の実情や生態の理解深化に向けた研究を、後者の「利用技術」については、これまでにない製品原料として活かすための研究開発を進めてきました。以下にこれまでに実施した研究例を列挙します。詳細は森林総研のウェブサイトを参照ください。

● 竹林の管理技術

- 「竹林生態系の物質収支(1993)」
- 「竹林・竹材害虫の生態とその防除法の確立(1994)」
- 「タケが森林を駆逐する?(1994)」
- 「タケの地上部現存量を簡易に推定する(2006)」
- 「日本の竹林のバイオマス炭素蓄積量、吸収量の算定手法の開発(2009)」
- 「広がる竹林をどうしよう?という時に～放置竹林の把握と効果的な駆除技術～(2018)」
- 「タケ林の開花特性と管理(2021～)」

● 竹利用技術

- 「竹を原料としたボードの開発(1996)」
- 「地域の竹資源を活用した環境調節機能を持つ複合建築ボードの開発(2009)」
- 「バイオリファイナリーによる竹資源活用に向けた技術開発(2014)」
- 「環境にやさしいセルロースナノファイバー製造技術(2015)」
- 「未利用の「竹」を効果的に利用する方法(2018)」

※カッコ内は研究成果の発表年

適用範囲・用途／森林総研では樹木と竹と人が共存できる環境を整え、未利用資源として竹を活用するために、今後も竹に関わる研究開発を推進していきます。
(研究の詳細は森林総研URL(下記)＞刊行物＞研究成果集などをご参照ください。)

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 小林慧人

〒612-0855 京都府京都市伏見区桃山町永井久太郎68

075-611-1201 (代表) contact_fsm@ml.affrc.go.jp <http://www.affrc.go.jp/ffpri.html>